

# てん菜協会 だより

2016.10.11

第 124 号



発行／一般社団法人 北海道てん菜協会／〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 ☎011-221-2542 FAX011-221-1815  
URL <http://www.h-tensai.sakura.ne.jp>



'16農業・農村体験フェスタ in 赤れんが (10月1日)

## てんさい

今年の夏は、8月16日から31日にかけて台風が4度襲来した。一年間に3つの台風が北海道に上陸するのは1951年の統計観測以来初めての事の様であり激甚災害に発展してしまった。

台風による被害が発生後連日新聞等に関連記事が掲載され、川の氾濫による土壌・作物の流失、てん菜の葉も隠れてしまうほどの冠水、圃場までの道の寸断等が報道された。更に報道されている地区だけではなくその他の地区においても相当の被害を受けていることに改めて被害の大きさを感じた。また、その後の腐敗等の病害の拡大、収穫作業、輸送等あらゆる影響について色々なことが懸念された。

ある新聞記事の中で、「これまでもあらゆる困難を乗り越え農業は発展し、今回の被害においても必ず乗り越えられるDNAを農家の皆さんは持っているはず」、またある組合長が「土の力はすごい、また豊かな実りをもたらしてくれるはず」と語った記事が掲載されているのを目にし、実際に畑を耕し管理をしていない者が軽々しくいえる事ではないが間違いない事と確信した。

一年をかけ丹精込め管理してこられた中、被害にあわれた皆様方に対しお見舞いを申し上げるとともに、てん菜にかかわる我々も過去にない被害の大きさを忘れることなく努力していかねければと感じている。

(K.O)

# 第14回 てん菜研究会開催

7月20日、札幌の北農ビルにおいて第14回てん菜研究会（技術研究発表会・定例総会）が開催されました。

技術研究発表会では、育種・品種関係が6題、栽培関係が5題、病害虫関係が2題、の計13課題の発表がありました。

また、特別講演として、J A つべつ・日甜美幌製糖所から事例発表がありました。

定例総会では、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、予算などが承認されました。

研究会には、大学、研究機関、糖業、資材等のメーカー、生産者団体などから120名を超える参加者があり盛況でした。

## ■技術研究発表課題及び発表者

研究センター)

1. ビート・タバコ異科接木の検討

田添沙織（北海道大学大学院農学院）

学院）

2. テンサイ新品種「KWS 2 K 314」の特性について

近藤悠真（日本甜菜製糖株式会社）

社）

3. 「リポルタ」の抽苔軽減対策試験について

藤井 寛（北海道糖業株式会社）

社）

4. ビート西部萎黄ウイルス抵抗性育種の試み

黒田洋輔（農研機構北海道農業研究センター）

センター）

5. ビート西部萎黄ウイルス（BW YV）に対する抵抗性育種素材の選抜

上田重文（農研機構北海道農業

場）

10. J S T C R E S T 「農業ビッ

6. テンサイ西部萎黄病に關与するウイルスの寄生性、E L I S A 検出及び分類学的考察

玉田哲男（ホクレン農総研）

研）

7. 次世代シーケンサーを活用したテンサイ共生細菌の解析

岡崎和之（農研機構北海道農業研究センター）

センター）

8. てん菜移植栽培における省力・低コスト化推進のための栽植密度低減栽培と問題点

鷹田秀一（北海道地域農業研究所）

所）

9. 直播栽培と移植栽培におけるテンサイ品種の収量反応

池谷 聡（道総研北見農業試験場）

場）

11. てん菜育種における遺伝的変異は生育環境を変化させてきたか？

白井靖浩（農研機構北海道農業研究センター）

センター）

12. アメリカ合衆国におけるテンサイの育種研究について

田口和憲（農研機構北海道農業研究センター）

センター）

クデータ」の概要とてん菜の網

羅的データ収集法

平藤雅之（農研機構北海道農業研究センター）

研究センター）

11. てん菜育種における遺伝的変異は生育環境を変化させてきたか？

白井靖浩（農研機構北海道農業研究センター）

センター）

12. アメリカ合衆国におけるテンサイの育種研究について

田口和憲（農研機構北海道農業研究センター）

センター）

13. ドイツ畑作地域における新たな集団的営農システムの取り組み

若林勝史（農研機構北海道農業研究センター）

研究センター）

研究センター）



■特別講演

演題 日甜美幌地区四ヶ町村甜菜振興対策協議会の取組及び「ドイツのマシーネリング、農作業受委託仲介組織の仕組みと基本的な考え方」と題してJAつべつ営農部長有岡敏也氏と日甜(株)経営企画室長木山邦樹氏が講演されました。

講演内容は次の通り

①日甜美幌地区四ヶ町村甜菜振興対策協議会「てん菜の生産振興と生産者の経営安定に向けた取組」



・てん菜収穫作業体系の再編

・てん菜集荷、輸送体制の再編集約

将来イメージ

・多様な経営が活動できる地域農業

産業複合体 (図)

・地域農業複合体による地方創生

生

②マシーネリング (機械協同利用

組織) の調査結果

・社団法人「MR Maindr

eieck」の例

事業範囲

・機械利用の仲介

・作業の協同化

・経営体の事業サポート

・生産者間の決済処理

・教育および広報活動

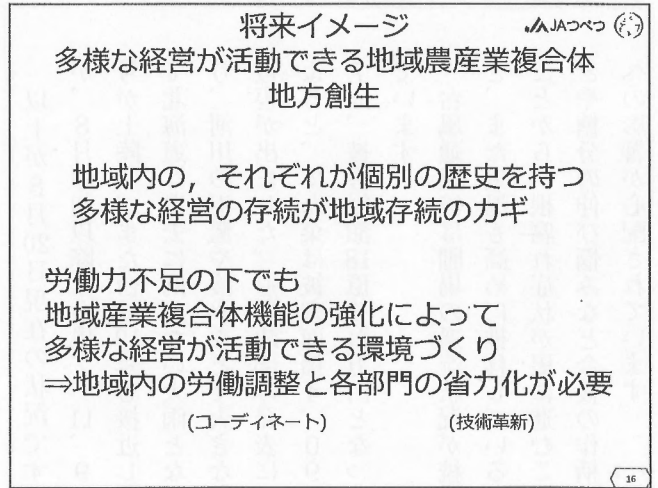
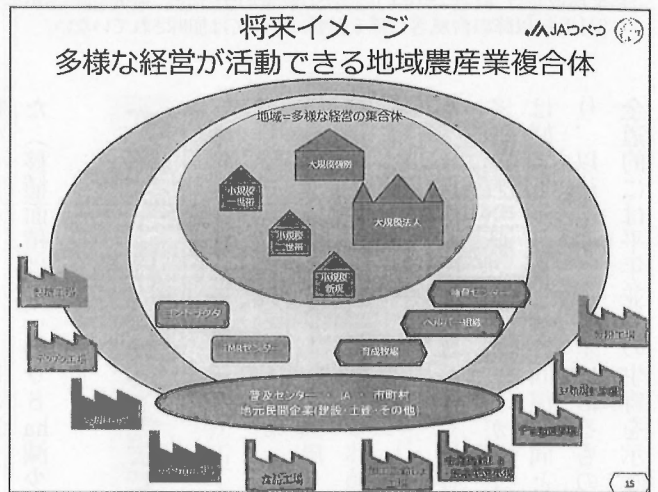
・非会員に対する営利業務

・MR (機械共同利用) のコンサルティング

サルテイニング

尚、発表要旨資料については、N

PO法人グリーンテクノバンク(0



11-210-4477) にお問い合わせください。

お知らせ

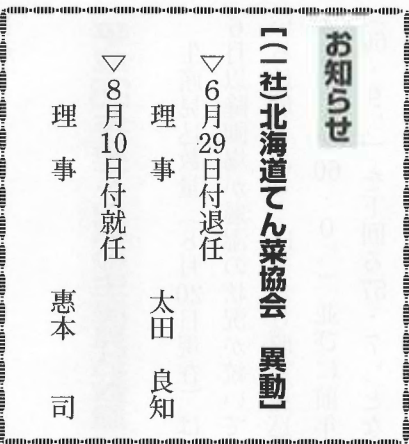
【(社)北海道てん菜協会 異動】

▽6月29日付退任

理事 太田 良知

▽8月10日付就任

理事 恵本 司



# 平成28年産てん菜の生産見込数量

(平成28年8月20日現在 北海道農政庁生産振興局農産振興課)

総合振興局・ 振興局	平成28年産(見込)			参考:平成27年産(実績)			参考: 対前年比	参考: 平均収量
	作付面積	ha当たり 収量	生産量	作付面積	ha当たり 収量	生産量	作付面積	
	ha	t/ha	t	ha	t/ha	t	%	t/ha
空知	531.63	58.0	30,700	517.14	62.6	32,382	103	56.87
石狩	1,113.54	56.0	62,400	1,043.43	65.4	68,196	107	58.12
後志	1,376.49	55.0	75,700	1,323.37	57.9	76,571	104	54.70
胆振	1,607.31	55.0	88,400	1,599.89	65.3	104,522	100	57.49
日高	48.60	47.0	2,300	51.91	61.6	3,196	94	55.39
渡島	154.49	49.0	7,600	150.12	52.2	7,836	103	50.83
檜山	277.08	54.5	15,100	260.06	59.9	15,569	107	53.91
上川	3,654.00	57.0	208,200	3,619.15	64.8	234,531	101	56.03
留萌	191.25	58.0	11,100	265.57	35.3	9,365	72	44.43
宗谷	-	-	-	-	-	-	-	-
オホーツク	23,956.02	60.8	1,457,200	23,692.25	68.8	1,629,924	101	59.28
十勝	26,056.39	55.5	1,447,000	25,732.55	66.7	1,717,096	101	62.21
釧路	298.01	55.0	16,400	296.98	63.9	18,976	100	56.48
根室	124.81	47.3	5,900	129.80	55.3	7,178	96	47.62
計	59,389.62	57.7	3,428,000	58,682.22	66.9	3,925,342	101	60.03
(内直播面積)	(13,203.17)			(11,387.50)			(116)	

注:平均収量は、直近7か年のha当たり収量のうち最高、最低を除く5か年分の平均。  
8月下旬以降の台風等に係る影響については加味されていない。

9月28日に、平成28年産てん菜の生産見込数量(8月20日現在)が、道農政庁生産振興局農産振興課から上表のとおり発表されました。

## 平成28年産てん菜の作付面積

これによりますと、本年の作付面積は59、390haと前年を707ha上回りました。昨年のでん菜の作付面積は11年ぶりに前年を上回りましたが、本年は昨年を引き続いて作付面積が増加となりました。なおこのうち直播面積は13、203haと昨年に比べ1、816ha増加しました(移植面積は1、108ha減少)。

## てん菜の生育状況(8月中旬まで)

本年は例年になく雪解けが早く、春作業が順調に進みましたが、4月下旬の暴風雪、5月上旬の強風、その後の降雨により、再播種や移植定植作業の遅れたところもありました。6月は曇雨天の日が多く生育はやや遅れ気味となりましたが、7月は好天日が多く生育は回復傾向となり、以後地域により差はあるものの全道的には平年並みの生育を示しま

した。

## 平成28年産てん菜の生産見込数量

生産見込数量(8月20日現在)は6月以降圃場が過湿の状況が続いている地域もあり、ha当たり収量見込みは平年(60・0トン)並びに前年(66・9トン)を下回る57・7トンとなっています。この結果、全道の生産見込数量は、342万8、000トンとなっております。

## 台風7、11、9号と10号による影響

以上が8月20日現在の状況ですが、8月中旬以降は台風7、11、9号が上陸し、また台風10号も接近して北海道は過去に例のない大雨となり、河川の氾濫や浸水などで大きな被害が出ました。道農政庁の発表によると、てん菜は被害面積4、097ha、被害総額18億3百万円となっています。台風通過後は圃場の過湿状況が続く、また気温も高めに推移していることから、根腐れ症状が更に進むことと糖分の伸び悩みなど今後の作柄への影響が心配されています。

北 糖		ホクレン		日 甜		糖業者名	
本 別	道 南	北 見	清 水	中 斜 里	士 別	美 幌	芽 室
10月22日	10月18日	10月18日	10月21日	10月17日	10月18日	10月18日	10月20日
							製糖所(工場)
							操業開始日

平成28年度  
製糖所(工場)操業開始日程予定



台風による大雨で圃場が過湿となり被害を受けたてん菜畑

台風・大雨による  
被災御見舞申し上げます  
北海道てん菜協会

### 協会の普及啓発活動

### 「16農業・農村体験フェスタ in 赤れんが」で、 てん菜・てん菜糖をPR

農村は、お米などの農畜産物を生産するだけではなく、美しい景観や雨水を蓄え防災の役割など大切な働きがたくさんあり、その素晴らしさを消費者に知ってもらおうと10月1日(土)、道庁赤れんが庁舎前で「農業・農村体験フェスタ in 赤れんが2016」が開催され、当協会も農畜産業振興機構札幌事務所、ピート協会札幌支部と協賛参加し、てん菜やてん菜糖に理解を深めてもらうPR活動を行いました。当日は、親子づれをはじめ観光客等約1万1千人の入場者があり、大変な賑わいでした。

PRコーナーでは、てん菜の実物を展示するとともに、うす切りにしたてん菜を実際に食味してもらい、あまいことを実感していただき、てん菜から砂糖がつくられていることを理解していただきました。また砂糖で作られている、わたあめや羊羹

を提供、「てん菜は日本では北海道だけで生産されている」ことや「砂糖は、体・脳・心に大切な食品である」ことを説明したパンフレット、スティックシユガーを配布し、てん菜・てん菜糖についてのPRを行いました。

特設ステージでは、てん菜やてん菜糖に関するクイズを行い、正解者には糖業者から提供された砂糖製品

の詰め合わせを贈呈し大変喜んでいただきました。

てん菜は、北海道畑作農業にとって欠くことの出来ない重要な作物ですが、てん菜そのものを知らない消費者の方が多くいらっしゃいました。

今後もいろいろな場面でPR活動を展開して理解の促進を図っていきたいと思います。



予告

「北海道のうまいもの見つけた!」  
アリオ札幌店で

平成28年10月26日から10月31日までの6日間、北海道の食をPRする「北海道のうまいもの見つけた!」がアリオ札幌店で開催され、道産農産物などの販売の他、パネル展示等が行われます。

当協会は10月29日と10月30日の2日間、てん菜・てん菜糖の普及啓発として北海道農政部・独立行政法人農畜産業振興機構と共同でPRコーナーを設置し、ステイックシユガー等の配布を行いますので是非ご来場をお待ちしております。



昨年度の北海道のうまいもの見つけた!の様

てん菜協会の動き

— 9月～11月 —

- 企画調整専門部会現地圃場調査 (9月6日～7日) 十勝・オホーツク管内
- そう根病抵抗性検定試験・同予備試験及び西部萎黄病現地調査 (9月8日～9日) 十勝・オホーツク管内
- 糖分測定装置の操業前点検 (9月23日、26日～27日、10月3日)
- 「16農業・農村フェスタin赤れんが」協賛参加 (10月1日) 道庁赤れんが前
- 上半期監事監査 (10月12日)
- 「北海道うまいもの見つけた!」イベントへの参加 (10月29日～10月30日) アリオ札幌店
- 立入点検の実施 (10月下旬) 糖分測定センター 稼働期間中に2回実施
- 協会役員てん菜受渡し等に係る現地調査 (11月7日～8日) ホクレン中斜里製糖工場、日甜美幌製糖所・北糖北見製糖所
- 第3回理事会 (11月7日)

収穫の時期です

農作業事故を防ぎましょう

- 作業機の点検、着脱はエンジンを完全に停止してから行いましょう



作業はあせらず、安全第一で!